

令和3年産 コメ通信

第9号（令和3年8月23日）

【発行】
北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話0186-62-1835）

ほ場を観察し適期に刈り取りを！

1 気象経過と生育状況

【気象経過（8月）】

- 気温は、8月7日に最高気温38.6度を記録するなど、上旬にかなり暑い日が続きました。8月9日以降は低気圧が接近し、かなり低い日が続きました。
- 日照は上旬に多くなっていましたが、中旬から少なくなりました。
- 降水量は、かなり少ない日が続きました。ただし、8月10日にまとまった降雨がありました。

【生育状況】

- 8月20日の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種あきたこまち）の調査の結果、平年に比べて穂数は平年並み、葉数、一穂着粒数、㎡当たり着粒数は多くなりました。
- 定点調査ほの出穂期は平年より5日早い7月27日となりました（管内全体の出穂期は平年より4日早い7月30日）。

表1 定点調査結果（8月20日・あきたこまち）

	穂数 (本/㎡)	葉数 (葉)	一穂着粒数		出穂期 (月/日)
			粒/穂	粒/㎡	
本年	476	13.2	72.7	34,444	7/27
平年	467	12.8	69.0	32,161	8/1
前年	476	12.7	73.7	35,121	7/31
平年比	102%	0.4	105%	107%	-5日
前年比	100%	0.5	99%	98%	-4日

※平年は過去10か年の平均値

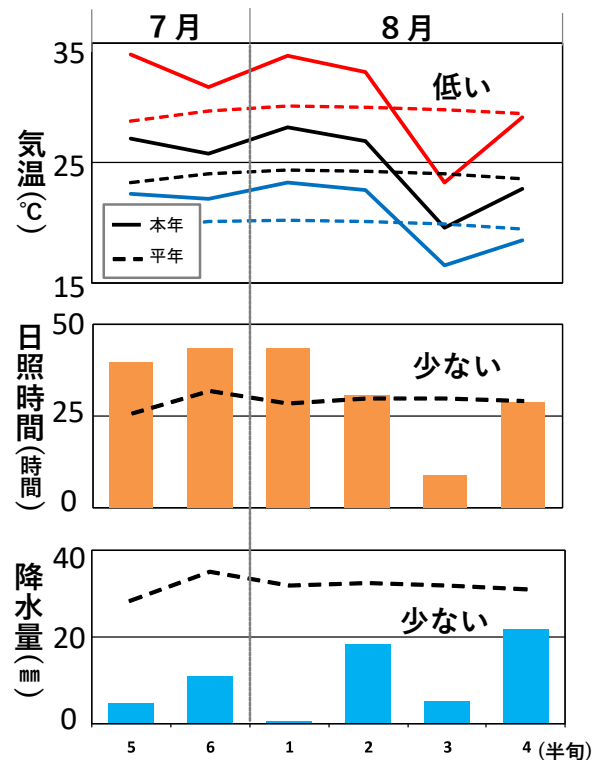


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

2 登熟の向上を図る水管理

- 登熟の向上を図るため、出穂30日後までは間断かん水を実施し、土壌水分を保持しながら稲体の活力を維持することが重要です。特に、開花後25日間は米粒が肥大するため、土壌水分が不足しないように注意します。
- 落水時期は、出穂30日後頃を目安としますが、稲の登熟度やほ場の作業性等を考慮してください。特に本年は、8月20日の調査結果で総粒数が多く、1か月予報（仙台管区気象台8月19日発表）で向こう1か月の気温が高いと予想されているため、玄米へのデンプン転流が低下し、白未熟粒の発生により、品質低下が懸念されます。玄米の充実を図

るために可能な限り、落水時期を遅らせて、稲体活力の維持を図ってください。
 ★カドミウム含有米の発生が懸念される地域では、出穂期3週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制してください。

3 穂いもち防除

- 7月30日に病害虫防除所から農作物病害虫防除対策情報第4号が発表されました。管内でも葉いもち、穂いもちの発生が散見されています。
- 葉いもちが多発しているほ場では、出穂後25日頃までにフサライド剤により防除を行ってください。ただし、フサライド剤の使用回数は3回以内、使用時期は収穫7日前までですので、注意してください。

4 斑点米カメムシ類防除

- 8月6日に病害虫防除所から農作物病害虫防除対策情報 注意報 第1号（水稲 斑点米カメムシ）が発表されました。水田内雑草が発生しているほ場で特に発生が多くなっていますので、防除対策を徹底してください。
- 特に、1回目の防除が適期に行われなかったほ場や、水田内雑草がある場合、またはイネ科雑草主体の牧草地や休耕田等の発生源に隣接しているほ場では、出穂期24日後頃（7月30日出穂期の場合8月23日頃）に茎葉散布剤のキラップ剤を収穫14日前までに、またはエクシード剤を収穫7日前までに、畦畔を含めて確実に散布してください。
- 例年1回しか防除を行っていないほ場でも、可能な限り2回目の防除を行ってください。
- 収穫2週間前までは草刈りをしないでください。

5 刈取適期の判定

○刈取適期は、品種や栽培方法によって異なります。本年は、出穂の早いほ場では、日照不足により積算気温と籾の黄化程度に差違が見られる可能性があります。ほ場をよく観察し、積算気温による到達日の目安を参考にして総合的に判断しましょう。1か月予報（仙台管区气象台8月19日発表）では向こう1か月の気温は高いと予想されているので刈取適期を逃さないよう注意してください。

【刈取適期の判定基準】

- ①籾の熟色：
 葉や穂首が緑色であっても籾の黄化程度が90%（黄色＋黄白色で）の頃

表2 積算気温到達日予想

出穂日	950℃(平年)	1050℃(平年)
7月25日	9月3日(9月4日)	9月8日(9月8日)
7月30日	9月9日(9月9日)	9月14日(9月14日)
8月5日	9月17日(9月17日)	9月23日(9月22日)

※ 8月24日以降平年値で計算

※熟色の進展：―――登熟の進み―――→

緑(青)色 黄色 黄白色

- ②出穂後の日数
 早生種（あきたこまち等）で出穂後45日前後
 中晩生種（めんこいな、ゆめおぼこ等）で出穂後50日頃
- ③出穂後の積算気温：出穂期翌日から日平均気温を積算した値（上表参照）
 早生種 あきたこまち等…………… 950～1,050℃
 中晩生種 めんこいな、ひとめぼれ等…………… 1,050～1,150℃

問い合わせはJA、または農業振興普及課まで
 HPは「北秋田 コメ通信」で検索、QRコードからも →

